

## プロジェクト 次世代につなぐ酪農産地づくり

## 目 標

・青森県の生乳生産量 R4：76,000 t → R10：70,600 t

## 挑戦する内容

- ・乳用牛1頭当たりの生産性向上及び乳用後継牛の効率的な生産の推進に向けた遺伝的能力の把握
- ・温暖化に対応した暑熱対策の推進
- ・省力化機械などの積極的な導入による効率的な経営の確立
- ・自給飼料の積極的利用による高品質で低コストな生乳生産
- ・経営継承を含む担い手の確保

関係者の声  
＝対話

- ・ゲノミック解析により乳用牛の遺伝的能力を把握したい（生産者）
- ・1頭当たりの生乳生産量を増加させたい（生産者）
- ・暑熱対策への支援を継続してほしい（生産者）

## 役割分担

- ・農協：飼料販売、飼育管理指導
- ・牛乳冷却処理所：衛生管理指導
- ・産技センター：乳用牛群検定に基づく飼育管理指導
- ・県、市町村：酪農家への飼育管理指導

## 変革後の姿

- ・酪農家個々の生乳生産基盤が強化されることにより、経営が安定
- ・輸入飼料や資材の価格高騰などに左右されない、ゆとりある酪農産地が形成

## 令和8年度計画

## 挑戦する内容

- 1 乳用牛1頭当たりの生産性向上及び乳用後継牛の効率的な生産の推進に向けた遺伝的能力の把握
  - ・生産者が行うゲノミック解析を支援し、県内牛群の遺伝的能力評価値を把握
  - ・生産者が行う性選別精液活用を支援し、効率的に後継牛を生産
- 2 温暖化に対応した暑熱対策の推進
  - ・畜舎の暑熱対策の強化に向けた実証展示の実施、効果的な手法の普及啓発
- 3 省力化機械などの積極的な導入による効率的な経営の確立
  - ・国の事業を活用した導入支援の実施（畜産クラスター事業の酪農への支援再開）
- 4 自給飼料の積極的利用による高品質で低コストな生乳生産
  - ・所得向上プログラムを活用した巡回指導の実施
  - ・生産性の向上を図るための飼養管理技術研修会の開催、県職員等向けの指導力強化研修会の開催
- 5 経営継承を含む担い手の確保
  - ・新規就農希望者の受入支援
  - ・将来の畜産人材に対する現場見学研修の開催



省力化につながる自動給餌機



自動搾乳ロボット



食肉加工施設の概要説明

## 対話

- ・畜産部会を開催（7月、1月）し、事業の進捗状況を把握するとともに、意見を参考に事業構築
- ・巡回指導や研修会を通して、生産現場の技術的課題等について生産者と意見交換を実施
- ・指導力強化研修会（12月）の際に、農協や畜産協会、畜産研究所も参加した意見交換の場を設定
- ・畜産現場研修会において、参加した高校生や高校教諭と生産者との意見交換を実施